



CS-1758



CS-1716



KN9116



KN2116

富士通製サーバ「PRIMEQUEST」と ATEN KVM スイッチ及び

Over IP KVM スイッチの接続検証結果報告書

ATEN ジャパン株式会社
技術サポート部

1. 検証概要

PRIMEQUEST 520 (SAN ブート/ETERNUS4000) と USB 接続による環境にて ATEN 及び ALTUSEN (by ATEN) KVM スイッチと動作検証を実施致しました。

2. 検証期間

2007年2月23日～3月8日

3. 検証装置

| 型番 | 概要 |
|-----------------|-----------------------------------|
| CS-1754/CS-1758 | 4 or 8 ポート PS/2・USB 対応 KVM スイッチ |
| CS-1708/CS-1716 | 8 or 16 ポート USB 対応 KVM スイッチ |
| KN9108/KN9116 | IP リモート対応 KVM スイッチ (PS/2) |
| KN2108/KN2116 | IP リモート対応 KVM スイッチ (PS/2, マルチユーザ) |
| CL-1200M | 17 インチ LCD ドロワ (PS/2) |
| UC-100KMA | PS/2 to USB コンバータ |

4. サーバ構成

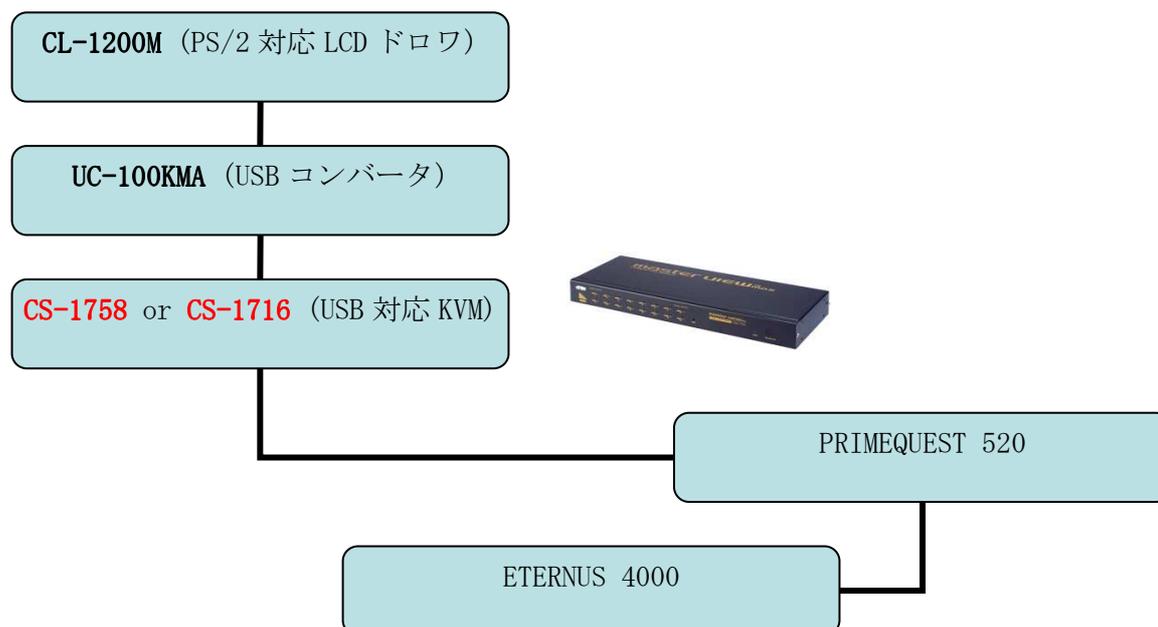
| 型番 | OS |
|----------------|---|
| PRIMEQUEST 520 | Windows Server 2003, Datacenter Edition for Itanium-based Systems |
| PRIMEQUEST 520 | Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for Itanium) |
| ETERNUS 4000 | Windows Server 2003 時のみ SAN ブート |

5. 検証項目

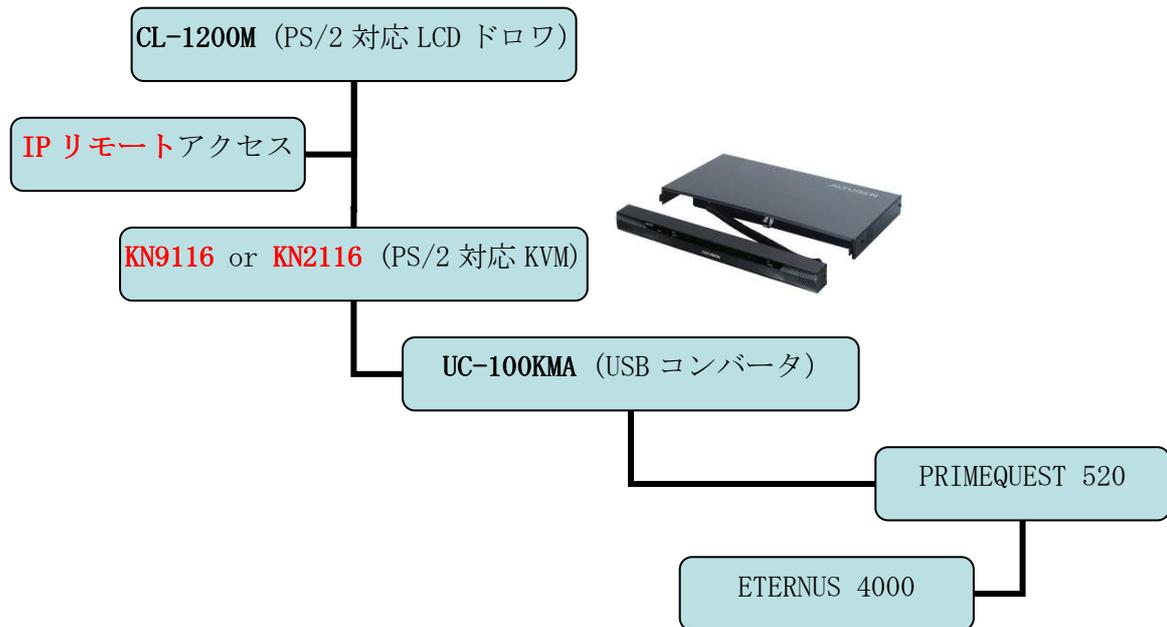
- A) コールドスタート時、ホットスタート時、リブート時、それぞれの動作確認
- B) 日本語キーボードのキーマップおよびキーコードの整合性
- C) マウス(タッチパッド)の動作確認
- D) Windows Server 2003(SAN ブート)と Red Hat Enterprise Linux(内蔵ディスク)の動作確認
- E) サーバ側接続に USB コンバータ(UC-100KMA)を使用し動作確認
- F) IP リモート時の動作確認(Gigabit Ethernet/1000BASE/階が異なるフロアによる LAN 環境)

6. 構成図

6-1. CS-1758 or CS-1716 構成



6-2. KN9116 or KN2116 構成



7. 接続方法

- 6-1. CL-1200M(LCD ドロワ)と CS-1758 or CS-1716(KVM スイッチ)間は、ドロワ同梱 PS/2 対応 2L-5202P ケーブルを使用しますが、KVM コンソール側は USB 接続に限る為、UC-100KMA (USB コンバータ)経由にて接続します。
 または、同梱ケーブルを使用せず、USB 対応 2L-5202UP ケーブルを代用することも可能となり、上記接続方法との間に差異はありません。
- 6-2. CL-1200M(LCD ドロワ)と KN9116 or KN2116(KVM スイッチ)間は、ドロワ同梱 PS/2 対応 2L-5202P ケーブルを使用します。
- KVM スイッチから PRIMEQUEST 間は、USB にて接続いたしました。
 PS/2 対応 KVM 接続時(6-2)は、PS/2 タイプ KVM ケーブルと、USB コンバータ UC-100KMA の組合せにて接続可能。
 USB 対応 KVM 接続時(6-1)は、USB タイプ KVM ケーブルとの組合せにて接続可能。

8. 検証結果

A) コールドスタート時、ホットスタート時、リブート時、それぞれの動作確認

・ コールドスタート時

サーバ側初期起動時、およびシャットダウン後に接続されている電源ケーブルを切り離し、しばらく(数分)経過後に電源ケーブルを接続し、スタート動作を数度繰り返しました。結果すべて正常動作しておりました。

・ ホットスタート時

サーバ側に接続されている全てのケーブル類は接続されたまま、シャットダウンとスタート動作を

数度繰り返しました。結果すべて正常動作しておりました。

・リブート時

サーバ側に対して、リブート動作を数度繰り返しました。結果すべて正常動作しておりました。

※補足：サーバ側は正式にはリブートをサポートしておりませんが、正常にリブート動作しておりました。

B) 日本語キーボードのキーマップおよびキーコードの整合性

テキストエディタを起動し、各キーを押し実際に入力される文字とキーマップが正しいことを確認致しました。

C) マウス(タッチパッド)の動作確認

デスクトップ画面、起動時画面、Window オープン画面にて確認しましたが、すべて正常に表示しておりました。

D) Windows Server 2003(SAN ブート)と Red Hat Enterprise Linux(内蔵ディスク)の動作確認
それぞれの動作確認を致しました。どちらの OS 環境においても、正常動作を確認致しました。

E) サーバ側接続に USB コンバータ(UC-100KMA)を使用し動作確認

PRIMEQUEST 側に対し USB 接続にて、動作確認を致しまして、正常動作を確認致しました。

F) IP リモート時の動作確認(Gigabit Ethernet/1000BASE/階が異なるフロアによる LAN 環境)
上記の内容と重複しますが、IP リモート経由で検証致しまして、すべて正常動作を確認致しました。

お問い合わせ先

ATEN ジャパン株式会社 技術サポート部

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-16-6 タツミビル 8F

Tel: 03-5323-7170 Fax: 03-5323-2181 Email: support@atenjapan.jp URL: www.atenjapan.jp